

(様式第4号)

上田市消防委員会 会議概要

1 審議会名	上田市消防委員会
2 日時	令和 4年10月31日 午後 1時30分から午後 3時30分まで
3 会場	上田地域広域連合消防本部 3階大会議室
4 出席者	宮島会長、上原委員、荻原委員、小相沢委員、清水委員、廣川委員、堀内(希)委員、堀内(健)委員、堀内(正)委員、宮川委員、宮阪委員、宮崎委員
5 市側出席者	堀池消防部長、西澤消防総務課長、長谷川消防団担当政策幹、山田危機管理防災課長、高橋消防総務課長補佐、峯村消防総務課長補佐、金井危機管理防災担当係長、福澤上田市消防団長、沓掛上田市消防団副団長、宮原上田市消防団副団長、山岸上田市消防団副団長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和 4年11月 1日

協議事項等

1 開 会 (消防総務課長補佐)

2 議事

(1) 第2回委員会の審議概要の確認について (資料)

- ・西澤消防総務課長から資料に添って説明
- ・福澤団長から消防団としての考えを説明
- ・以降、協議

(委員) 機能別消防団導入についてだが、最初は直近に退団したOBを当てにしているようだが、第1回委員会で退団者が多いのは無活動団員を退団させたからだと言っている。そんな人達が機能別消防団員になってくれと呼び掛けても答えてくれるかが疑問である。また、分団によっては定年制を敷いているところもある。

消火活動に期待せず色々な活動でもよいのではないかと。街中の分団では若い人が少なくなってきていて、第2分団管内では消防車両の出動準備や交通整理などで協力したいという意見もあるため、最初から訓練を行わなくてもいいような活動として、消防団を応援してくれるような形をつくるのが良いと考える。

(消防団) 退団者が多いのは分団ごとの事情で定年や後任に譲る等様々である。

分団長会では、29個分団中10個の分団が機能別消防団の導入を希望している。そのうち、第19分団、丸子第1分団、本原分団、武石西部分団は特に導入を望んでいる。今後も基本団員を増やすための努力はしていくが、現役団員の負担軽減となるよう機能別消防団員を導入したい。

(議長) 基本として、第1段階は消防団OBを機能別消防団員にということで良いが、それ以降は様々な人が消防団の応援団として活動してくれるように広げていった方が良い。

○協議結果:機能別消防団員の制度導入時点では、退団後間もない消防団員のOBを任用する形で良いが、導入後は、地域の様々な人に消防団を応援し活動してもらえるようにするよう検討する必要がある。

(2) 外国籍市民の消防団入団について

・・・・・・(資料番号 2)

- ・ 峯村消防総務課長補佐から資料番号 2 の 1 2 ページから 1 3 ページに添って説明
- ・ 福澤団長から消防団としての考えを説明
- ・ 以降、協議

(委 員) 日本国籍がないと消防団員になれないのか、また、市職員や広域職員も同様か。

(事務局) 地方公務員法により公務員は日本国籍の者でないと任用できないと規定されており、消防団員も非常勤であるが特別職地方公務員であるため、現状では任用できない。

(委 員) 外国籍市民を入団させるとすると、条例等で規定するのか。

(事務局) 地方公務員法に規定されているので、現状では任用できないため、任用するのであれば条例等で定める必要がある。

(委 員) 本人の意識と分団の考えだけでなく、何らかの規定がなければならぬと思う。

(事務局) 外国籍を任用するには、現在任用している他自治体の状況等も確認したうえで制度化して行う。

(委 員) 外国籍の方の活動は、機能別消防団員と同一なのに、一部は基本団員というのはおかしいと思うのでしっかり整理して、変に差別的なことにならないようお願いしたい。

(委 員) 女性団員も外国籍の方も機能別消防団員で良いのではないか。

それよりも、基本団員を増やすことが大切で、退団した人にもう 1 度基本団員になってもらった方が良い。

外国籍の方を消防団員に任用するのであれば、公権力の行使についてしっかりと運用要件を作り対応して欲しい。

また、女性団員も同様に、やりがいのある活動内容としてほしい。

○協議結果：今後、外国籍市民を消防団員に任用するのであれば、地方公務員法の制限があるため、条例等にしっかりと規定してから任用することが必要。

(3) 消防団員の負担軽減について

- ・ 福澤団長から現在の取組み等について説明
- ・ 以降、協議

(委 員) 今の説明は、委員会としてどうしろということなのか。

(事務局) 団長からの話は、消防団として努力している内容を説明したもので、その内容を委員の皆さんに理解してほしいと、また、他に意見やアイデアがあれば出してほしいとのこと。

(議 長) この件については、委員の皆さんから御意見を願います。

(委 員) ポンプ操法については、基本なので絶対に無くさないで欲しいし、大会にも出場して欲しい。出初式は、式典より東小学校でのアトラクションと市中行進を行うべき。

(委 員) ポンプ操法が負担とのことだが、やれば楽しいので楽しいところをアピールしたほうが良い。私が団員だったころは、地元の地理や水利を把握していたが、最近の団員は、地元の地理も知らない者がいる。また、地域との結びつきもあまりない者もいて、地域で浮いているものもいるため、地域との結びつきを大切にしてほしい。

(委 員) 消防団が地域にとって大切だということは解るが、一般の人にわかりやすい勧誘をしてほしい。また、基本団員と機能別消防団員が行う活動を分かりやすくすれば、入団に繋が

るのではないかと考える。

(委員) 昔と違い今の人には消防団に入団しやすい人とそうでない人がいるので、うまくコミュニケーションを取り勧誘をした方が良い。負担だと言っても訓練をしていないと実災害に対応できないし、自分の身を守るために訓練を行う必要がある。

(委員) 昔の消防団は青年団的なところで、地域の若者が集まり酒を飲んだりしてコミュニケーションを取っていたが今は時代が違う。あまり身構えずに人が集まりやすい形にした方が良いと考える。機能別については、自分が出来ることをできる範囲で協力してもらうようにした方が良い。消防団を特別扱いしないようにした方が良い。

(委員) 先日近所の団員と団員確保の話をした時に一つの案として、団員は税金とか補助金とかを優遇してもらえると家族からの入団を進めてくれるのではないかと聞いた。うちの息子は以前、上田市消防団に所属し活動していたが、何かのきっかけで退団し、現在は他の自治体に居住し、そこで消防団活動をしている。

基本的な訓練は実際の火災時などで活動できるように行う必要があると考える。それから、消防団員のイメージについては一生懸命やることは良いが重荷にならないようにした方が良い。

(委員) ポンプ操法の件だが、今の若い人は3か月も毎朝練習をやるなんて言えば入団しないし、ポンプ操法の動きは実際の火災では行わない。消防団の中でその辺りをよく話し合っ、若い人が入団しやすい環境作りが必要。

(委員) 訓練を行うなら、ポンプ操法だけでなく広く行う必要がある。

勧誘がネック、大会がネックというなら何か対応策を考えなければならない。大会をやめるならやめても良いが、消防技術のすそ野を広げる必要がある。

出初式は、市民へのアピールという点でも市で行進を行う必要があるが、式典は団員の重荷になると考える。

勧誘については特効薬が無いので、自治会としても苦慮している。

消防団として、根本を見直す必要があると考える。

(委員) 私は消防団OBだが入団して良かったと思っており、これは入団したから言えること。高校生の子供がいるが、高校に勧誘に訪れたことはあるのか。もしやっていないのであればやった方が良い。もっと消防団をアピールして勧誘することが必要で、私は子供が消防団に入団したいと言ったら絶対に入団させる。

(委員) 消防団員は金でなく、地域を守るという考えで行っているとのことで頭が下がる。

団員確保は地域を回りアピールすることも必要と考える。

災害対応については、消防団、自治会、自主防災組織、日赤等がしっかり協力できるように役割分担を行うことも必要。

(委員) ポンプ操法大会に向けての訓練のことだが、大会そのものをどうするのかを考えなければならない。消防団としてコロナにより縮小したのか、団員の負担軽減のために縮小したのか、この辺りについても検討が必要。ただ、操法については必要な訓練であるので、色々と考えて検討して欲しい。また、外国籍市民の消防団任用についてももう少ししっかりと検討して欲しい。

(委員) 勧誘時に団員から、消防団は大変だという話がまず出るが、これでは入団に繋がらない。訓練の時間は今の若者のライフプランに合わせていかなければならない。

「2・6・2」という組織の法則があり、2割が優秀、6割が普通、2割がそれ以下ということだが、2割の駄目なものを切り捨てると6割の中からまた駄目なものが出てしまう。このため、個々の価値観を理解して、受け入れていく消防団になってほしい。ある程度自主性を持たせてやらせた方が良い。

お祭りの時の勧誘も有効と考えるので、産業展等に参加し勧誘を行ってはどうか。

○協議結果：団員の負担軽減については、今後も地域や団員個々の意見を聞きながら消防団として継続して検討すること。

3 その他

・次回開催日について、委員に予定等を確認し、12月1日（木曜日）13時30分から上田地域広域連合消防本部3階大会議室で開催することに決定する。

4 閉会